

5. 患者モニタの使い方

目次

- ❖ 患者モニタの種類
- ❖ 患者モニタの概要
- ❖ 波形表示：3波形と4波形
- ❖ パラメータの起動方法
- ❖ 12誘導ECGの表示方法
- ❖ SimPadPLUSでの操作
- ❖ 音量設定方法
- ❖ シャットダウン方法



Laerdal

helping save lives

患者モニタの種類

レールダル患者モニタには、タブレット型かラップトップ型の2種類があります。
どちらも、シミュレータのリンクボックス（有線または無線接続）を通じてデータを受信します。



患者モニタ
(タブレット型)



患者モニタ
(ラップトップ型)

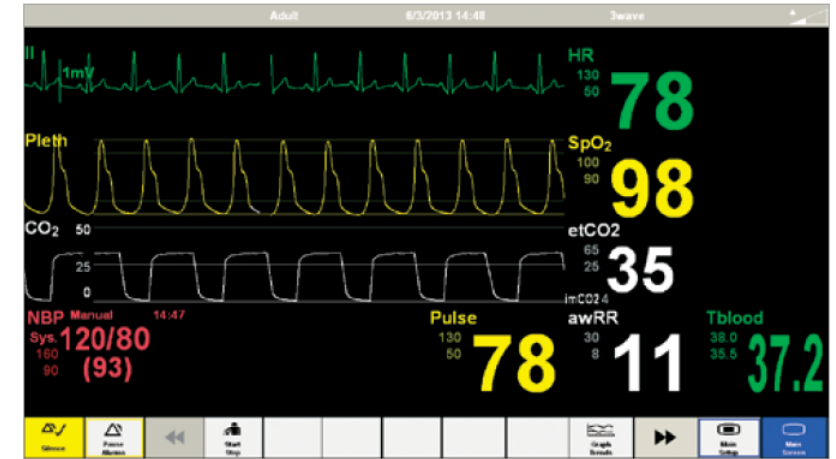
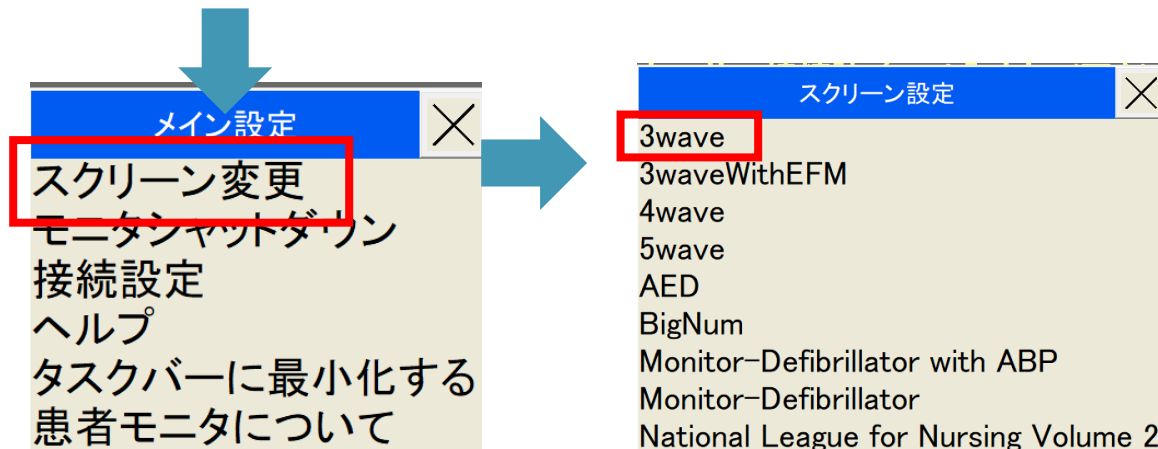
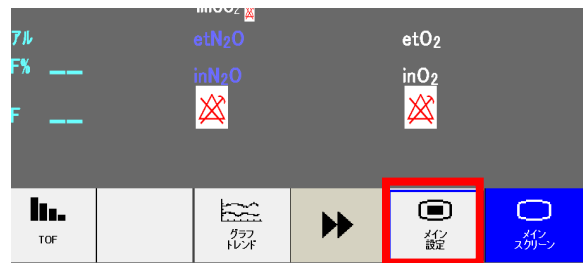
SimPadPLUS患者モニタ 表示項目

- ・ 波形表示：心電図(3誘導および12誘導)、脈波、動脈圧、カプノグラム
- ・ 数値表示：心拍数、SpO₂、脈拍数、EtCO₂、ABP、NIBP、呼吸数、体温

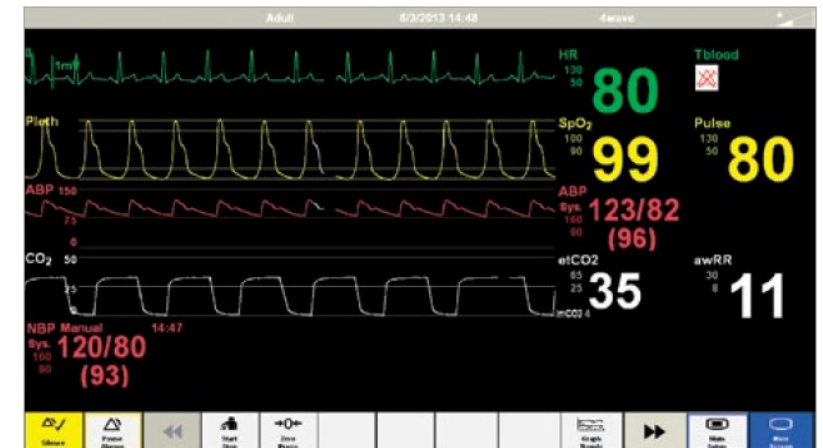
また表示形式として、3波形、4波形、5波形が選択できます。

波形表示：3波形と4波形

SimPadPLUSでは表示形式を3波形か4波形から選択できます。
画面右下の「メイン設定」ボタンをタップし、表示されたウィンドウにて「スクリーン変更」をタップして選択します。

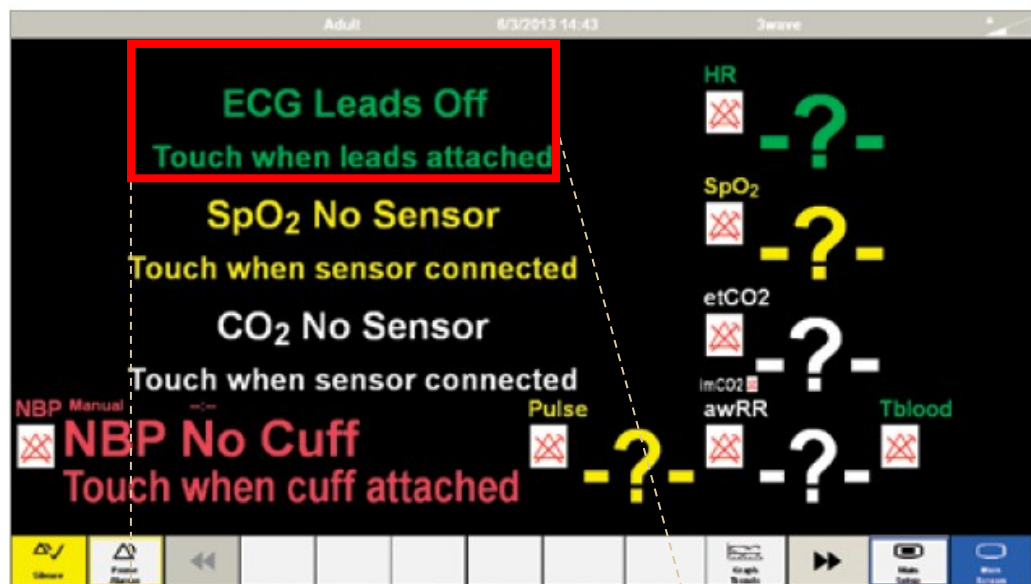


3波形 (3wave)



4波形(4 wave)

パラメータの起動方法



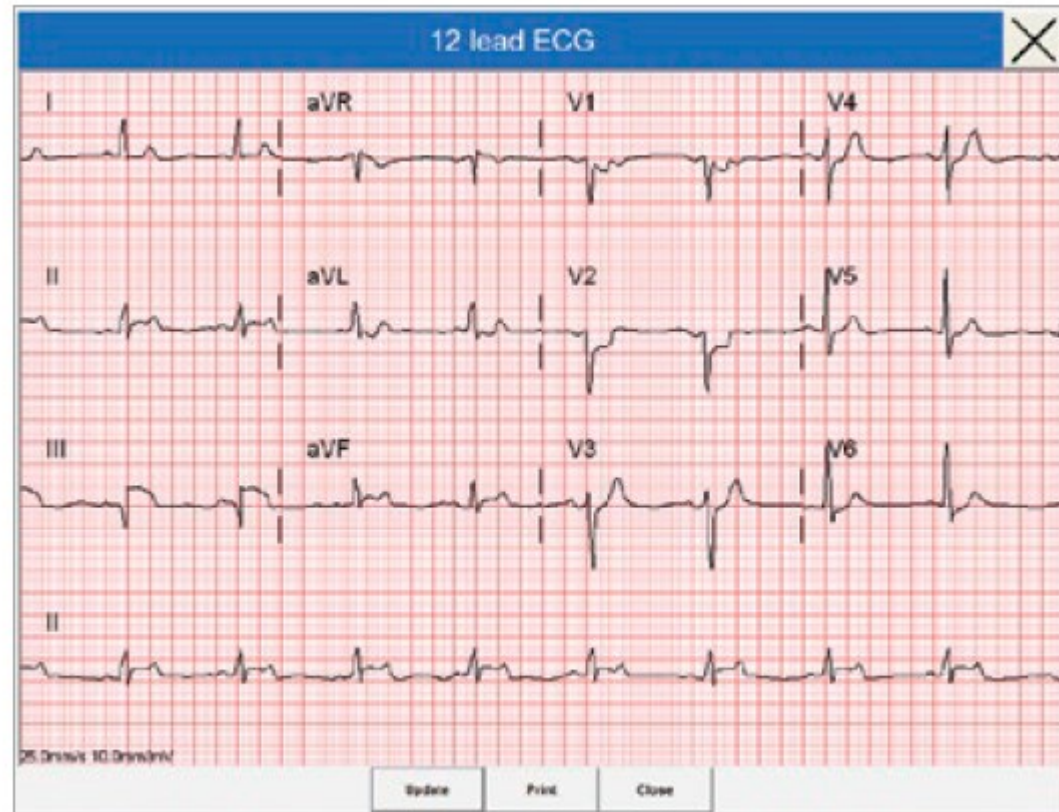
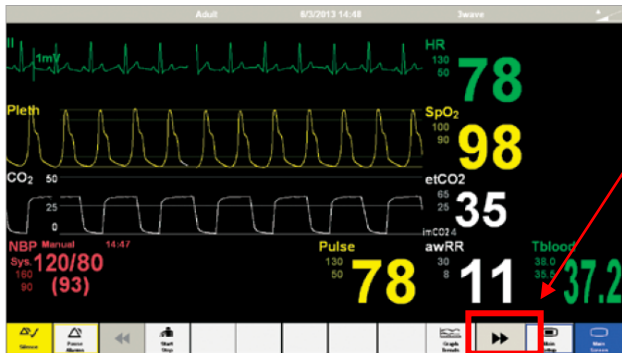
ECG Leads Off
Touch when leads attached

- ① 画面の波形をタッチして起動させます
タッチするまで画面は左のように表示されます
- ② 非侵襲血圧を何分毎に自動測定するかも画面上で設定できます



12誘導ECGの表示方法

患者モニタの下のメニューバーにて  をタップし、表示される  アイコンをタップします。



SimPadPLUSでの操作

SimPadPLUSではオートモードでもマニュアルモードでも患者モニタが制御できます。



① シナリオまたはテーマの画面にて右上の「メニュー」をタップします。

② 患者モニタをタップします

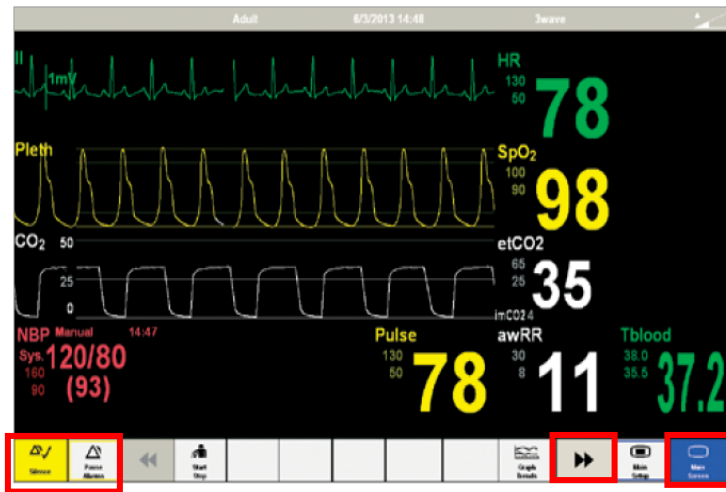
③ 各パラメータ名の横のスイッチを動かすと、波形が表示/非表示されます。

音量設定

患者モニタは、デフォルトでQRSとアラーム音がボリュームレベル4/10で鳴るようになっています。また、NIBPを測定する際にも音が発生します。





注意：モニタ音を再生するには、PCの設定でサウンドを有効（ミュート解除）にしておく必要があります。




①

②

③

① アラーム音オフと一時停止：画面下のメニューの   ボタンをタップしてアラーム音オフと一時停止ができます。

② 音量設定：画面下のメニューの  ボタンをタップし、その他のメニューを表示させます。

アラーム音量ボタン




QRS音量ボタン



それぞれタップすると音量レベルが表示されます。



③ 任意の音量レベルをタップした後、画面右下の  をタップして、メイン画面に戻ります。

シャットダウン方法

患者モニタの画面右下のメニューバーの「メイン設定」ボタンをタップし、表示されるウィンドウにて「モニタシャットダウン」をタップし、「本当に終了しますか？」をタップします。

